

今年度の事業計画について

令和3年3月に策定した袋井市地域公共交通計画に基づき、「公共交通が移動手段として選ばれるまち」を実現するために位置付けた事業を実施していきます。

1 スケジュール

月	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
内容	●→ 事業検討									
		事業実施			●→ 事業評価 検証		●→ 事業見直し			
地域公共交通会議	●6/4【第1回会議】(本会議) ・公共交通の状況 ・今年度事業計画 ・生活交通確保維持改善計画(策定)					●10月頃【第2回会議】 ・事業評価・検証、次年度事業検討 ・(仮称)地域タクシーの導入検討		●12月頃【第3回会議】 ・事業見直し ・地域公共交通確保維持改善事業(自己評価)		

2 主な事業

(袋井市地域公共交通計画(P13～)目標を達成するために行う事業)

1-②基幹バス路線の維持・改善

基幹バス路線を維持するため、系統の見直しや利便性向上を図るため、交通事業者(秋葉バスサービス(株))との検討を実施する。

2-①地域主体の移動手段の確保

地域主体の新たな移動手段「(仮称)地域タクシー」の導入に向け、集中支援地区において運行方法等を協議し、試験導入を目指す。

4-①路線バスの情報化、5-②バス停待合環境の改善、7-④公共交通ガイドの作成

利用者の利便性向上のため、自主運行バスの新たな運行形態に対応したデータを更新し、インターネットによる経路検索が引き続き可能となるよう整備する。

また、バスロケーションシステムの導入や公共交通ガイドの作成に向けた案内表示の検討を行う。

1-③市内高校への通学路線の確保・維持

今年度4月より運行経路を変更した袋井駅・中東遠総合医療センター線の利用状況の検証とともに、中学校や高校と連携しチラシによるPR活動を実施する。

2-②持続可能な地域協働運行バスの構築

既存の地域協働運行バスにおいて、運行委員会と協議して現在の運行を見直し、運行時間や受付方法などの再検討を実施する。

8-②公共交通の安心対策

感染症拡大防止のため実施している対策の周知とともに、利用者への協力を促す啓発を車内や市広報誌等を活用して実施する。